

風になりたい

岡本工介 ～アメリカ編～

閉じないで開くこと
外の風を受け入れること
外とつながること

ぶ|ら|く|新|世|代|シ|リ|ー|ズ
グローバルに
生きる Vol. 1

田中幸夫 監督作品

風になれたい

ぶ | ら | く | 新 | 世 | 代 | シ | リ | ー | ズ

グローバルに 生きる Vol. 1

グローバル＝グローバル（世界とつながる）＋ローカル（地域にこだわる）
10年に亘る「部落の心を伝えたいシリーズ（10巻）」後、
構想4年を経て制作を開始する新シリーズは、グローバルに生きる若者が
主人公の海外ロケを中心にした大型ドキュメンタリーです。
第1弾は、環境教育プランナー・岡本工介（28）の
1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着、
子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描きます。
インディアン居留区や黒人解放運動の地で再確認した
「つながる教育」の尊さ。これまでの運動の
意味・成果をふまえた上での、これからの展望。
部落問題が新しい時代に入った今だからこそ世に問う作品です。

■寄せられたメッセージの一部（解説書に全文掲載）

黒田 信一 [作家]

被差別部落に関して何も知らなくてもかまわない。
しかし、このドキュメンタリーを見てほしい。
「すべての差別を照らし出す視線」を通して、
自分の身近にある様々な差別を見つけることができるはずだ。

松村 智広 [(財) 反差別・人権研究所 所長]

“Think Globally, Act Locally”を実践する青年が、50歳の私にまぶしく写った。
「差別はきっとなくせる」解放の展望を与えてくれる夢がつまった映像である。

パトリス・ボワトー [映画監督・大阪ヨーロッパ映画祭実行委員長]

色彩溢れるインディアンの祭り、疾走するバッファロー、
南部の夜を彩る黒人ブルース…、美しい映像とパワフルな音楽の
奥底から立ち上ってくるのは“人が人となつたことを妨げている壁の存在”
という世界共通の普遍的テーマだ。

森 実 [大阪教育大学教授]

ていねいに気持ちを受けとめて傷をいやす教育と、
自分の可能性を追求して人との絆を広げていく教育が
一体であることを気づかせてくれる作品です。

津野 敬子 [ニューヨーク・ダウタウン・コミュニティ・テレビジョンセンター]

すべての日本人が島国の日本から一度外に出て、
西欧社会の中ではマイノリティであることの痛みを感じたら
差別される側の痛みを理解できるのに…。

◎尚、この作品には、より深い理解のための解説書（水平社宣言と黒人解放運動・
マイノリティの食文化・積み残された課題など）が付きます。

◎プロデューサー／田中幸夫・北川修二・酒井邦一 ◎撮 影／BALMA

◎編 集／NON ◎録 音／松井俊幸 ◎監 督／田中幸夫

2007／日本／DV／カラー／ステレオ／37分

（解説書付）VHS／DVD（字幕有・無）

取扱

(映) 有限会社 博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31-220号

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628